

2026 年 10 月 2 日

各 位

会 社 名 D A I K O X T E C H 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 松山 晃一郎
(コード番号：8023 東証スタンダード)
問 合 せ 先 取締役上席執行役員コーポレート本部長 CFO 間 渕 剛 志
(T E L : 0 3 - 3 2 6 6 - 8 1 1 1)

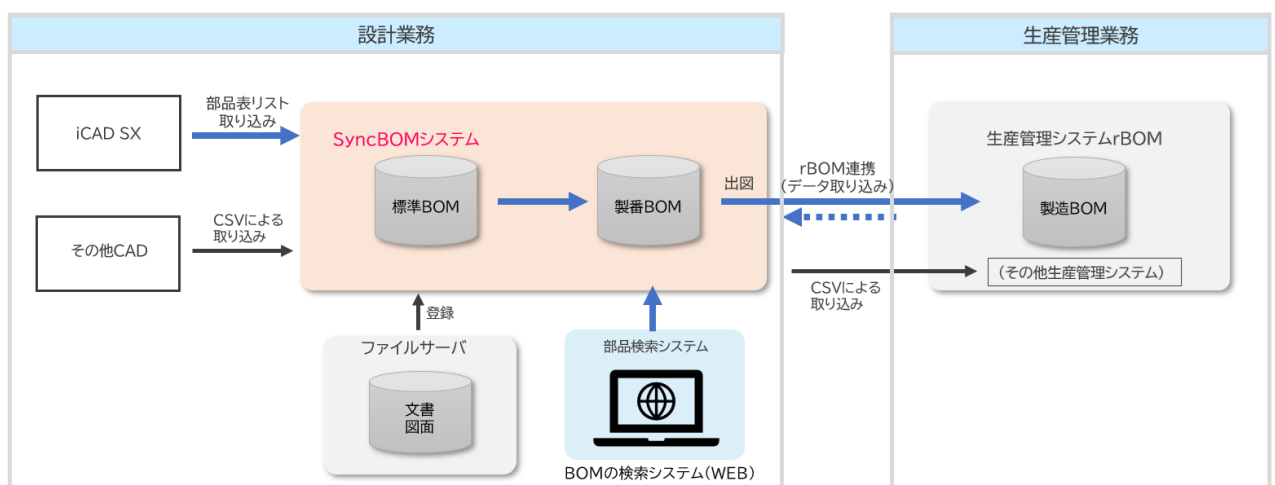
設計部品表管理システム「SyncBOM」提供開始のお知らせ

当社は、中小製造業向け設計部品表管理システム「SyncBOM」の提供を開始いたしましたので、お知らせいたします。

記

現在、国内製造業では、深刻な人材不足への対応や生産性向上、多様化する顧客ニーズへの適応といった課題への対応が急務となっており、製品価値や製造コストの大部分を左右する「設計情報」の戦略的活用が不可欠となっています。しかしながら、多くの現場では設計情報の一元化が進んでおらず、部門間の情報分断や業務の属人化、後工程との連携不足といった課題が顕在化しています。

こうした課題の解決に向け、当社は、設計情報を「設計部品表 (E-BOM)」として一元管理し、後工程との円滑なデータ連携を実現するシステムとして「SyncBOM」を開発いたしました。設計部門における情報共有の壁を取り払うとともに、設計から製造に至る情報プロセスを標準化することで、導入企業における業務効率化と製品競争力の向上に貢献してまいります。



「SyncBOM」の詳細につきましては、別紙をご確認ください。

今後も、当社グループでは、中期経営計画「CANVAS TWO」に基づく事業戦略の一環として、多様化する社会のニーズや課題の変化を的確に捉え、必要に応じて外部サービスの活用や事業者との連携を図りながら、サービスの拡充と最適な IT サービスの提供に努めてまいります。企業理念である「五方良し経営」に基づき、社会全体の DX をけん引することで、持続可能な社会の実現に寄与してまいります。

以 上

News Release

DAIKO XTECH

2026年10月2日

DAIKO XTECH 株式会社

DAIKO XTECH 株式会社

設計部品表管理システム「SyncBOM」の販売を開始 ～中小製造業の設計開発部門の生産性および QCD の向上を支援～

DAIKO XTECH 株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長 CEO:松山晃一郎、以下 DAIKO XTECH)は、設計部品表管理システム「SyncBOM(シンクボム)」の販売を 2026 年 10 月 2 日より開始します。

1. 背景

国内製造業では、人材不足への対応や生産性向上、顧客ニーズの多様化への対応など、多くの課題に直面しています。こうしたなか、品質・コスト・納期を左右する設計情報の重要性が高まっています。「品質とコストの約 8 割は設計段階で決まる」と言われており、設計情報の有効活用が競争力強化の鍵となっています。

ハイブリッド販売・生産管理システム「rBOM」を開発、販売している DAIKO XTECH は、設計部門において設計情報の管理が一元化されていない現状について着目。設計情報を「設計部品表(E-BOM)」として集約・管理し、後工程との円滑な情報連携を可能にするためのシステムとして「SyncBOM」を開発しました。

【国内製造業の設計部門が抱えている課題】

- ・PLM(製品ライフサイクル管理)システムで部品表管理を行う場合、コストや期間の長さがネックとなり、導入ハードルが高い
- ・部品表をExcelで管理しているため、転記ミスの発生や設計変更への対応、最新情報の管理が煩雑になっている
- ・業務が属人化し、部門間での情報連携に不備が発生しやすく、情報の検索や再利用にも時間を要している

2. 「SyncBOM」の特長

「SyncBOM」は、設計部門が保有する製品構成情報をはじめ、部品情報、過去の設計資産、設計変更履歴、関連ドキュメントを設計部品表(E-BOM)として一元管理します。これにより過去に使用した部品表を素早く検索できるようになり、同じような部品が別々に登録されることを防ぎます。また、設計変更の履歴や影響範囲を管理でき、後工程へ連携する情報の精度を高めることができます。

設計部門の”探す””確認する””流用する”という作業が効率化され、会社全体として設計資産を活用できる組織へと変革できます。

- ・分断された設計・製造情報を設計部品表で統合し、業務全体の最適化を実現
- ・必要な情報へ瞬時にアクセスし設計変更を正確に追跡できる豊富な設計者支援機能
- ・標準/個別に対応した BOM 管理

- ・CAD、生産管理システムとのデータ連携機能

3.「SyncBOM」の導入メリット

製品設計情報を設計部品表(E-BOM)で一元管理し、設計・調達・生産へとデジタルで連携(synchronized)していくことで、ものづくりプロセス全体におけるスムーズな情報共有を可能とし、生産性向上と品質の安定化を支援します。

(1)受注設計生産(ETO)にも対応した BOM 管理が可能

製番 BOM 管理機能を実装しており、受注設計生産向け業務にも対応。標準 BOM と製番 BOM の 2 種類の BOM を管理することにより、設計の標準化促進と個別受注の製品設計情報管理を強力に支援します。

(2)ハイブリッド販売・生産管理システム「rBOM」とのシームレスなデータ連携が可能

標準 BOM および製番 BOM から部品表情報を CSV で標準出力が可能。ハイブリッド販売・生産管理システム「rBOM」であれば「SyncBOM」から情報を直接連携できます。さらに「rBOM」のコスト情報を取り込むことにより、「SyncBOM」上で積算を行うことができます。

(3)CAD で作成した部品表の連携が可能

CAD から出力された部品表情報は、CSV 形式で取り込みが可能です。iCAD SX(注1)であれば、部品表情報を設計部品表システムに直接取り込みます。

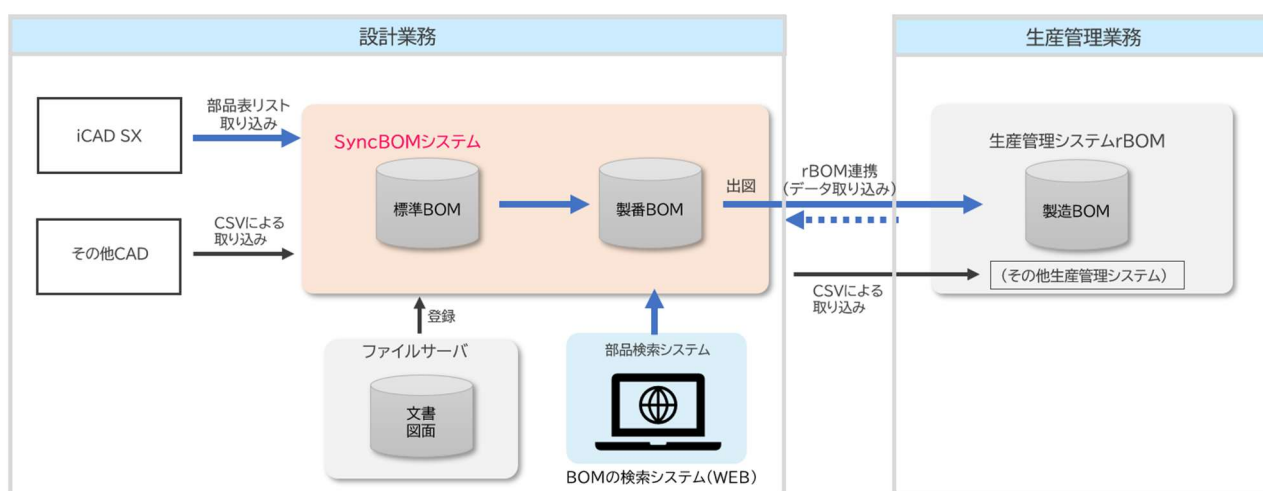
(注1)iCAD SX は富士通株式会社が提供する 3 次元 CAD ソフトウェアです。

(4)Web 経由で社外からでも必要な製品情報を検索可能

顧客先など社外から「SyncBOM」に登録されている製品情報(品目構成情報、図面情報)をWeb経由で検索できます。これにより、営業や保守業務など各種業務対応のスピードアップが図れます。

(5)設計部品表管理に必要な機能群を提供

設計変更管理、構成差分比較、構成逆展開、ワークフロー、ドキュメント管理をはじめ、属性項目カスタマイズ機能により、業務や管理対象に合わせて、必要な属性項目をユーザー側で柔軟に追加・設定できます。



<SyncBOMシステム概念図>

4. 販売目標

今後5年間で200社への導入を目指します。

5. 製品紹介URL

SyncBOM: <https://www.daiko-xtech.co.jp/solution/syncbom/>

rBOM: <https://www.daiko-xtech.co.jp/solution/rbom/rbom-v2/>

6. 会社概要

DAIKO XTECH株式会社 <https://www.daiko-xtech.co.jp>

- ・株式市場: 東証スタンダード 証券コード8023
- ・本社所在地: 東京都新宿区揚場町2-1 軽子坂MNビル
- ・設立: 1953年12月
- ・代表者: 代表取締役社長CEO 松山晃一郎
- ・資本金: 1,969百万円
- ・事業内容: システムの設計・開発・運用やハードウェア・ソフトウェアの提案・販売、ネットワークの構築など、幅広い業務をワンストップで提供するシステムインテグレータです。
お客さまにとっての「価値あるしくみ」の創造をサポートしています。

7. 本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

DAIKO XTECH 株式会社 ビジネスクエスト本部 インダストリービジネス事業部
TEL:03-3266-8171
E-mail:syncbom@daiko-xtech.co.jp

【報道関係者向けお問い合わせ先】

DAIKO XTECH 株式会社 ビジネスクエスト本部 マーケティング推進部
TEL:03-3266-8171
E-mail:suishin@daiko-xtech.co.jp

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。